

## 販売活動の様子と報告

いらっしゃいませ！の元気な声が響くのは、今年度力を入れている『販売活動』です。利用者、保護者の皆様のご協力のお陰で多くの活動に参加し、売り上げを伸ばすことができました。

現在、毎月決まって取り組んでいる販売は、とちぎ老人ホームあずさの里・栃木市役所内福祉ショップ・グループホームなごみの家・大平町サカエ工業・栃木市社会福祉協議会です。どこの販売場所も販売に来るのを心待ちにしてくれています。今年から始めたサカエ工業では、パンが好評で順調に売り上げを伸ばしています。

また、平日のイベント販売にも積極的に参加してきました。仲間たちのモチベーションが高まってきているようです。社会福祉協議会主催で行っているオレンジカフェDE TOCHICO(都賀支所)・宇都宮市セルフセンター・シルバー大学校中央校チャリティーバザー・親子ふれあいサロン(岩舟町、西方町)・ナイスハートバザールin県庁生協販売・わくわく広場in市役所と多くのイベントに参加しました。お子様から年配の方までたくさんのお客さんに興味を持っていただいています。

今後も元気よくいらっしゃいませ！と声を響かせ、たくさんの方の目に触れていただけるよう製造、販売に励んでいきます。

支援員 赤堀 美穂



### 生活介護メンバー作 子年 干支のちぎい絵



### お礼と報告

- ・台風19号に対する義援金が53,920円集まりましたので、共同募金会に納入しました。
- ・クリスマス会で行った募金活動で、11,350円が集まりましたので、共同募金会に納入しました。

皆さまのご協力に感謝を申し上げます。

みなさまの  
ご健康と益々のご発展を  
お祈り申し上げます

社会福祉法人うまぐりの里  
法人本部、障害福祉サービス事業所ゆーあい工房  
相談支援事業所めだか

〒328-0033 栃木市城内町2-62-14

TEL 0282-25-4001

Fax 0282-25-1575

E-mail [yu-aikoubou@cc9.ne.jp](mailto:yu-aikoubou@cc9.ne.jp)

ホームページURL: <http://www.cc9.ne.jp/~yu-aikoubou/>

共同生活援助事業所なごみの家

〒329-4412 栃木市大平町北武井655-3

TEL・Fax 0282-21-7800

### ●編集後記●

今回は、法人と事業所の令和元年7月以降の活動報告、相談支援事業所「めだか」、ゆーあい工房が行う作業活動紹介等をメインに掲載いたしました。関係各位、本年も良き一年となりますようお祈り申し上げます。

ひだまり第3号の発行にあたり、ご協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。

### ●編集スタッフ●

うまぐりの里常務理事 中村君枝  
ゆーあい工房主任 川又正久  
ゆーあい工房支援員 渡邊啓之  
ゆーあい工房支援員 赤堀美穂



むがむチュー

# ひだまり



## 2020年新春 社会福祉法人うまぐりの里 理事長 岩川 和男

令和2年 明けましておめでとうございます。

昨年は、各種行事に多大な御支援・御協力をいただき厚く御礼申し上げます。お陰様で、予定された年間の各種行事は全てとどこおりなく遂行することが出来ました。

さて、「平成」から「令和」に改元されて2年目を迎えました。徳川幕府の江戸時代には、元号がたびたび改元されるため、庶民社会では元号ではなく「干支」を使用していたとのこと。

それを再現すれば、今年は『庚子(かのえね)』となります。

江戸時代の平均寿命は多分60年に満たなかったため、60年で元に戻る干支を元号として使用しても特別違和感がなかったのでしょう。

元号はさておき、今年は「うまぐりの里」は勿論のこと、皆様にとっても幸多き年であってほしいものです。

何はともあれ、今年64年目の「東京オリンピック」開催の年です。昨年の「ワールドカップ・ラグビー」の盛り上がり以上に、全国民がフィーバーしてくれるよう全ての選手が大活躍してくれることを期待したいものです。

「ガンバレ！ ニッポン！」

「うまぐりの里」も一生懸命頑張ります。皆様方の力強い御支援・御協力を心からお願い申し上げます。

## ゆーあい工房保護者会 会長 佐野 義晴

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、幸多き新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

また、日頃から法人関係者の皆様には、我々保護者会の活動に対しまして多大なるご協力とご理解を賜り、誠に有難く心より御礼申し上げます。

今年「ゆーあい工房」も開設22年目に入り、利用者をはじめ保護者の高齢化が顕著になってきているのが実情です。それに伴い、利用者および保護者の法人や施設に対する要望の内容も変化してきていると思います。

このためにも今まで以上に法人、施設、利用者と保護者の連携を強化し、お互いに理解し合える有意義な活動に結びつけていければと考えております。法人関係者の皆様には、引き続きのご支援を宜しくお願い申し上げます。

末筆になりましたが、法人の益々のご発展と関係各位のご健勝、ご多幸をお祈りして新年の挨拶とさせていただきます。

# 今号の特集



## 今回は、相談支援事業所「めだか」・木工作业・受注作業をチェック！

### 指定特定相談支援事業所「めだか」

今回は、相談支援にスポットを当てていただいたので、この場を借りて相談支援についてご説明させていただきます。

相談支援とは、障がい者自立支援法において「障害福祉サービスを組み合わせて利用することを継続的に支援していくこと」「個々の障害者の支援を通じて明らかになった地域課題への対応を地域全体で連携して検討し、支援体制を整えていくこと」を目的に制度が施行されました。

当法人がもつ『指定特定相談支援事業所めだか』では、サービス等利用計画書の作成ならびに相談などの支援をさせていただいております。

相談支援事業を開始した当初(5年前)は、主に継続して日中活動事業所(ゆーあい工房)を利用するための計画を作成する業務が中心でした。しかし、最近では、日中活動事業所の継続した利用に加え、利用者ご本人の状態・家族構成や家庭環境の変化に伴い、相談内容も多様化し様々な福祉サービスを組み合わせて利用するための相談や調整も増えてきています。

「自宅で一人暮らしをする場合にどんなサービスがあるのか」「サービスを受けたいけれども条件があるのか」「余暇を充実させたいがどんなサービスがあるか」などの相談を受けることがあります。

皆さんの【困った】に応えられるよう、更に学びを深めると共に地域の情報収集や連携をする必要性を痛感しています。

相談支援専門員：川島真智子

### 一つ一つ心をこめて 木工作业班

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいいたします。

ゆーあい工房では、木工作业・菓子作業・受注作業の主に3つの作業に分かれて活動しています。今回のコラムでは、木工作业の製品をご紹介します。

木工作业の製品は、栃木県産ヒノキ材を(全部または一部)使用して製作しています。昨今、地産地消という言葉が耳にしますが、ゆーあい工房では開所以来ずっと栃木県産ヒノキ材を使用した製品を作ってきました。

そんな中、毎年必ず製作しているのが「干支製品」です。私が入職する以前、開所当時から様々な干支製品を製作してきたそうですが、レーザー彫刻機を用いた干支製品を初めて製作したのは、10年前(寅年)でした。もう少しで1周となります。現在の干支製品は「干支置き物」と「干支壁飾り」を毎年製作しています。今年のネズミ年も、心のこもった製品に仕上がりました。



※左から、干支置き物【1,650円】、干支壁飾り(無垢枠)・干支壁飾り(茶枠)【900円】

干支製品の他、ゆーあい工房の木工チームが作成した製品は、直営店である「ショップゆーあい」や委託販売先でも購入できますので、是非、手に取ってみてください。

木工作业担当 荒川 直人

# 行事いろいろ



## 8/24ボウリング

残暑厳しい中サンプラザで行いました。  
ストライクが出るとみんな大喜び！  
ハイタッチをする人も♪



## 10/10スポーツ交流会



栃木総合運動公園  
で行いました。ゆーあ  
い工房は紅組として参  
加しましたが、残念な  
がら優勝は白組でした。  
来年こそ  
負けないぞ！

## 10/27 壬生町健康ふくしまつり



グループ毎に買い物やイベントを楽しんだ後は、ボリューム満点のランチを味わいました。

## 11/3プチ旅行



館林市の向井千秋記念子  
ども科学館へ行きました。  
プラネタリウムで星空の旅  
へ…



## 令和元年度うまぐりの里公益的な取組事業

11月23日(勤労感謝の日・祝日)に、ゆーあい工房を会場に令和元年度公益的な取組事業を行いました。「晩秋の一日を事業所ゆーあい工房で過ごしてみませんか。」と地域住民に呼び掛け、有志ボランティアによるピアノ演奏や木工作業体験、職員手作りの豚汁うどんとパウンドケーキを食べながら、ゆったりとしたひと時を過ごしていただきたいといった内容でした。日頃から何かとお世話になっている地域の方達へ感謝を伝え、参加者同士の交流の場となれば、との願いからの企画です。

今回は、木工作業の主材料である県産檜材の繋がりから、県南環境森林事務所職員の方の協力を得て、県産材の理解と普及に向けた取組についての展示コーナーも開設しました。栃木県産の檜は質が高く、他県にも誇れるブランド力を持っています。昔植林された檜が、今まさに成熟の時を迎え、建築材を中心として、これから多方面にわたって益々普及させたいそうです。

また、ゆーあい工房の利用者である鳥羽宏昌さんは、幼少の頃から絵を描く事に魅せられ、絵を描くことを通じて自分の思いを他者に伝え続けています。人生の伴侶はまさに絵画。50余年が過ぎた今、その歩みを一番近くにいる仲間達にお披露目しよう。家族と職員の思いが一致して、今回盛大に絵画展を開くことができました。点画で描く水彩画の世界は、見ごたえのある作品ばかり。来場された皆さんを魅了し、様々な感動を与えたことと思います。今亡きお父様と一緒に観た井戸湿原の風景が宝物であり、彼の中では今でも鮮やかに息づいているようです。自閉症という障害があっても、素晴らしい才能を開花させ、家族や周りの人たちを喜ばせ続けているのですね。

以上の様な企画で晩秋の一日が終わりました。地域の皆様にお楽しみいただけたなら幸いです。また次回、感謝と感動をお伝えできる機会をお作りしたいと思います。

常務理事 中村 君枝



## 楽しい・おいしい！ クリスマス会

玄関に大きなサンタが置かれ、和室の前ではクリスマスツリーがキラキラと輝いています。休憩時間にぬいぐるみのサンタが歌いだすと、いよいよクリスマス会の時期です。

令和元年のクリスマス会は12月21日(土)に行われました。利用者、保護者、法人役・職員、総勢80名が集まり、賑やかな会となりました。

今回は、強口圭子先生をお招きし、エレクtoon演奏会が行われました。1台のエレクtoonから沢山の音色が奏でられる事に驚きつつ、クリスマスソングからJ-POP、演歌まで、リズムに合わせて歌ったり、踊ったり、とても楽しい一時が過ごせました。

お昼は、保護者会役員さんたちを中心に準備していただいた、手作りのクリスマスメニュー。色鮮やかで、とても美味しい料理に皆さんの笑顔が溢れていました。

大きなサンタとトナカイが運んできたプレゼントは、順番に釣ってゲット！あっという間に楽しい時間は過ぎ、クリスマス会は幕を閉じました。

最後に、クリスマス会にご参加いただいた皆さま、また開催するにあたりご協力くださった皆さま、この場をお借りしてお礼申し上げます。

支援員 大久保美穂



## 仕事をいただく感謝と丁寧な作業をモットーに「受注作業」

受注作業では、外部から仕事をいただき、様々な作業を行っています。所属する利用者の皆さんはそれぞれ自分に合った作業工程を見つけ、協力しながら作業を行っています。

・今まで行ってきた活動内容

自動車部品・医療器具の組み立て  
履歴書・カレンダー・お年玉袋の封入作業  
広報誌の折り込み作業等



多くの受注作業を経験してきました。現在では、佐野市にある(株)第一包装様からの主に菓子箱の箱折り作業、栃木市都賀町にある(株)トーヨー様からの折り紙の封入作業を中心に行っています。

単に箱折り作業と言っても、折り目つけ・組み立て・ひもで縛る結束・梱包と様々な作業工程に分け、取り組む利用者さんは得意な作業で活躍してくれています。

折り紙の封入作業も同様で、とても丁寧さが求められてきます。皆さんも一度は目にしたことがあると思いますが、この「教育おりがみ」は、栃木市都賀町の工場でしか作られていません。そのため、私たちがセッとした折り紙一袋一袋が全国のお店へと渡り、たくさんの方達に愛用されているのです。

その他にも栃木市から永野川・皆川城址公園の清掃作業(共同受注)、アルミ缶・ペットボトルのリサイクル作業も行っています。

受注作業はこれからも安定した受注量を確保し、定時納品に努め、完成度の高い作業を目指していきたいと思えます。

サービス管理責任者 渡邊 啓之  
生活支援員 佐々木竜也

## 無学文盲

### 台風と干し柿づくり

19年の梅雨明けは7月29日と遅く、台風19号では永野川の上流で500ミリを超える雨量があり、市内の浸水家屋は7583棟に達しました。一日も早く日常に戻れることを祈ります。

4年前の水害と合わせ、地球温暖化を肌で感じました。天候のせいかな毎年楽しみとしているスイカ、栗、無花果、柿など不作でした。

ここで我が家の楽しみの干し柿づくりを紹介します。小春日和の庭やこたつで食べると自然の恵み、優しさが口に広がります。

作り方は簡単です。11月気温が下がり、乾燥したら枝付きで皮をむき2、3分湯通し、日当たり・風通しの良い軒下の物干しに吊るします。

最初の3、4日の天気が悪いとカビてしまいます。7日位経ったら時々柔らかくなると揉むと一層美味しくなります。

3~4週間くらいで柔らかいあんぽ柿のようになります。出来上がりはもちろんラップに包み、冷凍庫で保管しても白く粉を吹き、違う美味しさがあります。「ひだまり新春号」を読みながら食べようと思えます。

今年は災害の無いことを祈ります。自然の恵みが生けるものに多くありますように、そして皆様にも幸多き歳となりますように祈ります。

うまぐりの里 理事 片柳 実

### うまぐりの里「グループホーム整備検討委員会」の活動が始まりました！！

法人の運営するグループホーム「なごみの家」の設置運営から間もなく4年が経過する現在、ゆーあい工房に通う利用者とその保護者を中心に、第2のグループホーム設置の希望が数多く出されています。その様な現状を踏まえ、理事会の承認を受けて「グループホーム整備検討委員会」が始動しました。法人役員・評議員、保護者会代表から委員12名が選出され、第1回委員会を12月7日に行ったところです。今後、整備に向けての諸条件を検討してまいります。

整備検討委員 中村 君枝

## つぶやき

「ヤッター！！」ゆーあい工房で仕事ができる。みんなと楽しく過ごす事ができると、声を張り上げて喜んで早4年。現在は、グループホーム世話人として、毎日を楽しく充実して過ごす事ができています。

思い起こせば、ゆーあい工房を知る事ができたのは、ある新聞で、「福祉施設でパン工房を始めました」の記事を見た時でした。

♥みんなの笑顔、それはそれはとっても印象的でした♥

その記事を読んで、10代の頃の自分は、福祉の仕事をやりたい事が蘇ったのです。即「そうだ！！ボランティアで行ったら、みんなと仲間になれる」。その時から、なじみでゆーあい工房に行くようになりました。しかし、長い年月のうちには、仕事・親の介護など色々な事情から、ボランティアに行く事もままならない時期が続きました。ゆーあい工房に行けなくても、何かできる事があるのではないかと模索し、地元岩舟のイベントに木工品を預かって販売などを行い、少しでもゆーあい工房と関わろうと考えての行動でした。

現在は、親の介護も終了し、毎月の予定と言えば、孫の行事参加と人形劇のボランティア活動で忙しく動いていますが、これからの福祉の在り方や親御さんの心の内を少しでも理解できたらと思い、ゆーあい工房の行事にはできる限り参加したいと考えています。そして、寄り添って行きたいと思っています。この事を通して、ステップアップになると思う、何と言っても私自身が楽しいんですけどね(笑)

私は、この仕事は天職だと思っています。身体が続く限り、頑張っって仕事を続けて行きたいと思っています。この記事を通して、ゆーあい工房に出会えてありがたいと言いたいです。

### 『ありがとう』

最後になりますが、ボランティアでやっている人形劇の写真を見て下さいね！

(左1人目が蜂谷さん)

(左3人目が蜂谷さん)



なごみの家世話人 蜂谷 悦子

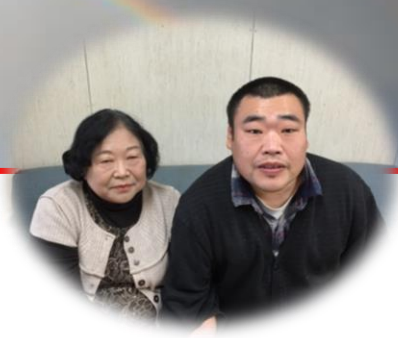
## コラム「虹色のペンシル」 第4話

拓也とともに40年

安生 和子(ゆーあい工房保護者)

姉(恵子)がお腹の中にいた頃は、それは元気に動きまわり良く私のお腹を蹴ったものだったが、拓也は静かで女の子かなと思っていた。出産時それもへその緒が首に絡まってすぐに泣かずにいると「今に泣きますよ。」と助産師さんの回答、じきに「オギャー。オギャー」ほっとした。そんな訳で、生まれながらにして物静かな口数の少ない性格の男子の誕生となった。そして1歳のころ健常児ではないなと直感した。今でいう「自閉症スペクトラム」。しかし、あの頃はこの子をどう育てたらいいのか、未知の世界。葛藤の連続だった。人には言えない悩みの数々。最近ニュースになった「父親が息子を殺害」。障害児をもつ親なら、その気持ちが理解できます。本当に苦悩と葛藤の結末だったと思います。しかし、私達親子は色々な人との出会いがあり、仲間とのふれあいや語り合いそして助け合いがあったからこそ「ここまで」来られたのだと思います。

拓也の人生の半分を過ごしてきた「ゆーあい工房」そして「なごみの家」の皆さんや多くの方々に感謝し親子共々これからもご支援を宜しくお願い致します。



# 行事報告

7月~12月



## おつかれさまでした！「運動会」

7月6日(土)に、第10回ゆーあい工房運動会が栃木市運動公園体育館で行われました。心配していた暑さもさほどではなく、過ごしやすい陽気の中、利用者35名、保護者32名、法人役員3名、職員12名、ボランティア4名の合計86名が参加しました。紅組と白組に分かれて、全員が競技に出場し、勝敗を競いました。競技は、「皿返し」、「綱引き」、「玉入れ」、「ダンス」、「障害物競争」、「缶釣り競争」、「ボール運びリレー」の7つが行われたほか、今回初めて法人役員競技として「全部玉入れ」が行われました。結果は、紅組295点、白組255点ということで、紅組の勝利で終わりましたが、勝敗に関係なく、多くの方に参加していただき、ケガなどもなく、一緒に楽しく体を動かすことができたことが何よりでした。

今回初めて参加された利用者、家族の方にも「楽しかった。」という言葉をいただきました。次回も1人でも多くの方に参加していただき、少しでも運動不足を解消したいと思いますので、よろしくお願いします。

主任 川又 正久  
生活支援員 佐々木竜也



## 楽しかった親睦旅行

11月15日(金)~16日(土)に、親睦旅行で、群馬県高崎・沼田方面に行きました。利用者、保護者、役職員合計61名が参加しました。

初日は、榛名山でロープウェイに乗り山頂を散策したり、月夜野びーどろパークの見学などをしました。天候に恵まれ、榛名山山頂から素晴らしい景色を望むことができました。二日目は、ロックハート城を見学し、原田農園のバーベキューでおなかいっぱいになり、田園プラザで買い物を楽しみました。全体的にゆったりとした旅行程でしたが、いろいろな体験や見学ができたり、水澤うどんなどのご当地グルメを堪能できたりして、満足していただけたのではないかと思います。

また、初日の夕食の宴会では、恒例のビンゴ大会で盛り上がり親睦を深めることができました。そして今回も宿泊したホテルがとても良かったです。群馬県から少し足を伸ばしたところにある「越後湯沢温泉 双葉」。檜風呂や露天風呂が付いている部屋もあり、思い思いに温泉を楽しんでいただきながら、日頃の疲れを癒していただけたのではないのでしょうか。

最後に、参加者の皆様には、今回の旅行に参加していただいたことに感謝いたします。そして、二日間ラブラブルもなく、とても良い雰囲気でも、楽しい時間を共有することができましたことに重ねて感謝いたします。

主任 川又 正久

